

## 第5学年 算数科学習指導案

日時 平成16年10月19日(火) 5校時

児童 5年2組 男12名 女12名 計24名

授業者 長山奈緒子

### 1 単元名 5 平行四辺形と三角形の面積(東京書籍)

### 2 単元について

#### (1) 教材観

この単元に関わる小学校学習指導要領第5学年の目標は、「(2)面積の求め方についての理解を深めるとともに、基本的な平面図形の面積を求めることができるようにする。」である。

本単元の学習では、「基本的な図形の面積について、必要な部分の長さを測り、既習の長方形や正方形の面積の求め方に帰着させ計算によって求めたり、新しい公式をつくり出し、それを用いて求めたりすることができるようにする」ことをねらいとしている。

第4学年では、長方形、正方形の面積の求め方を通して、面積の概念と単位の理解から面積公式を導いている。本単元ではこれらの既習内容をもとに学習を進めることになる。平行四辺形や三角形の面積の求め方を、既習の求積可能な図形の面積の求め方を基に考えたり、公式をつくり出したりすることや、その過程で論理的な考え方と数学的な考え方の育成を図ることができる。

また、公式を覚えて使うことだけでなく、どのような考え方で既に求め方が分かっている図形に帰着するのか、作り出した公式がどんな公式を土台にして導き出されたかという筋道をはっきり理解させ、公式の見方や公式を活用する力を伸ばすことが大切である。

#### (2) 児童観

本学級の児童は、自分の考えをもって意欲的に学習を進められる児童が多い。しかし、見通しや自力解決の場面で時間を要する子や支援が必要な児童も数名いる。また、比較・検討の場面においては、自分の考えを説明したり、児童相互のコミュニケーション能力がまだ十分とはいえない。従って、見通しや自力解決の場面で答えの考え方を一つ一つ整理させながら、論理的に説明できる力を付けていくことや、児童相互のコミュニケーションを図りながら考えを深めていく力を付けていく必要があると考える。

本単元の学習を進めるにあたり、その基盤となる基本的な事項を確認するとともに、実態を把握するための事前テストを行った。結果は以下の通りである。

	問 題	正答率	誤答例・誤答理由
1	長方形、正方形や複合図形の面積を求める。	(1) 96% (2) 83% (3) 79%	・問題の読みちがい
2	平方メートルから平方センチメートルの単位の換算。	(1) 8% (2) 4%	・誤答が多いため単位の確認が必要
3	長方形の面積の公式を用いて、面積を求める。	(1) 100% (2) 100%	・誤答なし
4	平行四辺形の面積を求める。(未習)	88%	・未習だが平行四辺形を変形させて考えている

未習問題である平行四辺形の面積を求める問題については、長方形に変形させて、答えを導く児童が多かったようである。このことから、図形を変形して考えるという意識を持っていることが分かった。

#### (3) 指導観

本単元は、「平行四辺形の面積の求め方」「三角形の面積の求め方」「まとめ」の3つの小単元で構成されている。

「平行四辺形の面積の求め方」では、面積公式をどのように導き出していくか、その過程を大切

に指導していきたい。高さが平行四辺形の外にある場合でも、方眼紙にかかれた平行四辺形を合成や、分解移動させ、工夫して面積の公式が適用できることを理解させていきたい。また、「底辺」「高さ」については、同じ形でも底辺の定め方によって、高さが変わってくることに気付かせていきたい。

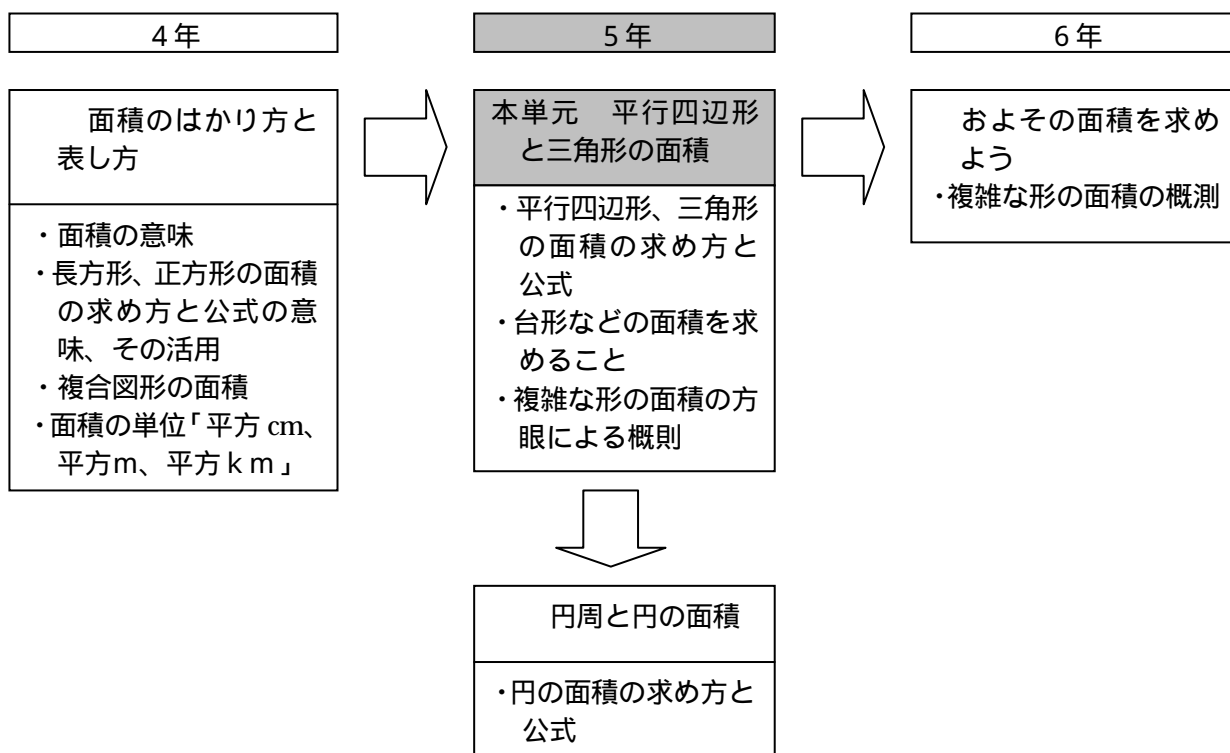
「三角形の面積の求め方」では、既習の長方形や平行四辺形の形にして面積の求め方を考えさせる。等積変形や倍積変形により求積する三角形の「底辺」「高さ」が変形した図形のどの部分にあたるかを考えさせて公式を導かせたい。

そして、「まとめ」では、平行四辺形、三角形の求積の学習内容を習熟させるとともに、算数への興味を広げるための発展的な問題として、台形、ひし形の求積に取り組みさせる。ここでは、面積の求め方を既習のどんな図形に帰着させて導き出したのかを多様に考えさせたい。図形の求積方法を一つとは限定せず、多様な考え方の異同を比較検討させて求積公式を知らない図形でも、既習の図形の組み合わせとしてみれば、面積が求められることに気づかせたい。

児童の実態を考慮し、単元全体において、前時までの学習内容を生かしながら、児童に多様な面積の出し方を考えさせ、それぞれの考え方や方法のよさを認め合うということを大切にしていきたい。そして、それらを通して、論理的な考え方を高めながら、共通性や妥当性を吟味することで児童間で練り上げていく力もつけさせたい。

今回の指導要領では、台形やひし形などの求積公式が内容から削除された。その理由として、これまでの図形の面積の指導が単に公式を覚えるだけに終始していたことがあげられる。しかし、台形やひし形の面積の求め方を既習事項と結びつけて考えることを楽しむ教材として与えれば、発展的に考える力を養うことのできる教材である。

### 3 単元の関連と発展



4 単元の目標と指導計画 (本時10時 / 10時間)

【目標】								
<ul style="list-style-type: none"> <li>平行四辺形や三角形の面積の求め方を理解し、これらの面積を求めることができる。</li> <li>いろいろな平面図形の面積について、既習の図形の面積の求め方をもとに考えたり、活用したりする能力を伸ばす。</li> </ul>								
関心・意欲・態度		数学的な考え方		表現・処理		知識・理解		
<ul style="list-style-type: none"> <li>平行四辺形や三角形などの面積を求めるときに、既習の経験を進んで用いようとする。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>既習の面積の求め方をもとにして、平行四辺形や三角形などの面積の求め方を工夫して考える。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>平行四辺形、三角形などの面積を求めることができる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>平行四辺形、三角形などの面積の求め方を理解する。</li> </ul>		
小単元	目標	学習内容・活動 (時数)	評価規準					
			具体的な評価規準(評価方法)				支援画	
			関心・意欲・態度	数学的な考え方	表現・処理	知識・理解	支援画	
			おおよそ満足できる子 努力を要する子の支援					
平行四辺形の面積の求め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>平行四辺形の面積の求め方を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>面積が既習の図形を想起し、平行四辺形の面積の求め方を既習の図形に帰着して考える。</li> <li>長方形に等積変形する平行四辺形の面積の求め方を活用する。(1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平行四辺形の面積を既習の図形の求積と関連づけて工夫して求めようとしている。</li> <li>既習の図形を変形したり、方眼紙などにかき込んだりして、面積を求めようとしている。(イ、エ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>長方形の面積の求め方に帰着して、平行四辺形の面積の求め方を考えている。</li> <li>図形を変形させたり、方眼紙などに書き込んだりして、既習の図形に帰着させた面積の求め方を考えている。(イ、ウ)</li> </ul>			<p>【関・意・態】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>等積変形や面積変形して面積を求めるときに多様な方法で考えさせる。</li> <li>方眼紙に平行四辺形のかかれた図と既習の長方形のかかれた図を使い、切ったり貼ったりして何とか長方形に形を変えて面積を求められぬよう考えさせる。</li> </ul> <p>【考え方】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>等積変形や面積変形して面積を求めるときに多様な方法で求め、その中から、長方形の面積の学習のように公式につながる考えかたをどう考えさせる。</li> <li>方眼紙に平行四辺形のかかれた図と既習の長方形のかかれた図を使い、切ったり貼ったりして何とか長方形に形を変えて面積を求められぬよう考えさせる。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>平行四辺形の面積の公式を理解し、それを適用して面積を求めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>面積の公式を作るには、等積変形した長方形のどの長さがかかればよいかを考える。</li> <li>「底辺」「高さ」の意味を知る。</li> <li>平行四辺形の面積を求める公式をまとめ、公式を適用して面積を求める。(1)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>平行四辺形の面積の公式を用いて面積を求めることができる。</li> <li>平行四辺形の面積の公式を間違えずに用い、面積を正確に求めることができる。(ア、ウ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平行四辺形の面積の求め方を理解している。</li> <li>ノートに公式を何も見ないでかけること物論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平行四辺形の面積の求め方を理解している。</li> <li>ノートに公式を何も見ないでかけること物論</li> <li>長方形に帰着させることの意味を記述できる。(イ、ウ)</li> </ul>	<p>【表現・処理】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どこが底辺でどこが高さを自分で見つけさせ、さらに同じ図形で見方を変え、底辺を別の辺にして求積させる。</li> <li>方眼紙にかかれた図を与え、底辺と高さをとらえやすくさせる。</li> </ul> <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平行四辺形の面積の公式の意味について説明、また記述させる。</li> <li>長方形に変形した意味を考えさせる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>高さが平行四辺形の外にある場合でも、面積公式が適用できることを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高さが平行四辺形の外にある場合の面積の求め方を考える。(1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高さを表す垂線の足が平行四辺形の外にある場合でも、工夫して平行四辺形の面積の公式を適用しようとしている。</li> <li>高さを表す作図や説明ができる</li> </ul>					<p>【関・意・態】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分なりの求積方法にも根拠をノートに記述させ、説明できるようにさせる。</li> <li>方眼紙にかかれた図を与え、変形した長方形と平行四辺形の高さが一致することに気づかせる。</li> </ul>

			(ア、ウ)				<p>【考え方】</p> <p>平行四辺形の底辺と面積の関係を、表やグラフを使った式で表し、その変化の意味を説明させる。</p> <p>数値について空白の表を用意し、面積を実際に求めた結果を記入させて、途中で数値の変化に気づかせる。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>平行四辺形の高さを一定にして、底辺の長さを変えたときの面積を底辺の関係を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平行四辺形の底辺の高さが1cm、2cm、5cmと変化する時の面積の大きさを調べる</li> <li>平行四辺形の底辺の長さを <math>a</math> cm、面積を <math>S</math> <math>\text{cm}^2</math> として面積を求める式を考える(1)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>2つの数量の関係を、表やグラフを用いた式で表して、数量の関係をとらえている。</li> <li>平行四辺形の底辺の長さが2倍、3倍・となると面積も2倍、3倍・となることを見つけている。(イ、ウ)</li> </ul>			<p><b>補充</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平行四辺形の面積の求め方の練習をする</li> </ul>
三 角 形 の 面 積 の 求 め 方	<ul style="list-style-type: none"> <li>三角形の面積の求め方を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三角形の面積の求め方を考える。</li> <li>三角形の面積を求める公式を考える。(1)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>倍変形して平行四辺形にする考えをもとにした三角形の面積の求め方を考えている。</li> <li>図形を変形させたり、方眼紙などにかき込んだりして、既習の図形に帰着させた面積の求め方を考えている。(イ、ウ)</li> </ul>			<p>【考え方】</p> <p>等変形や倍変形して面積を求めるときに多様な方法を求め、その中から、平行四辺形の面積の学習のように公式につながる考えかたを、ゆづりかたを考案させる。</p> <p>方眼紙に三角形をかかれた図と既習の平行四辺形をかかれた図を使い、切ったり貼ったりして何とか平行四辺形に変形させて面積を求められぬか考案させる。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>三角形の面積の公式を理解し、それを適用して面積を求めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公式を作ることには、倍変形した平行四辺形のどの長さかかわればよいかを考える。</li> <li>三角形の面積を求める公式をまとめ、公式を適用して面積を求める。(1)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>倍変形した平行四辺形の底辺の長ささと高さに着目して、三角形の面積の公式を考えている。</li> <li>2で割ることの意味を説明できる。(イ、ウ)</li> </ul>		<p>三角形の面積の求め方を理解している。</p> <p>・ノートに公式を何も見ないでかけることば論、帰着させる図形を言える。(ア、ウ)</p>	<p>【考え方】</p> <p>倍変形だけでなく等変形も公式につながることを考案させる。</p> <p>式の数値に言葉が付く、言葉の式としてまとめさせ、一般化として考案させる。</p> <p>【知識・理解】</p> <p>三角形の面積の公式の意味について説明または提示させる。</p> <p>平行四辺形に変形した意味を考案させる。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>高さが三角形の外にある場合でも、面積公式が適用できることを理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高さが三角形の外にある場合の面積の求め方を理解する。(1)</li> </ul> <p><b>発展</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>底辺と高さの関係から面積が等しい三角形を作図する</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>高さを表す垂線の足が三角形の外にある場合でも、工夫して三角形の面積を求めることができる。</li> <li>三角形の高さが外にある場合でも、高さにあたる場所を説明できる。(ア、ウ)</li> </ul>		

ま と め	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容の習熟と、理解を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「練習」をする。</li> <li>「たしかめ」をする (1)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 5px auto;">補 充</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>三角形の面積の求め方の練習をする</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>平行四辺形 三角形の面積をいろいろな考え方で求めることができる。</li> <li>平行四辺形 三角形の面積をいろいろな考え方で正確に求めることができる。(ア、ウ、オ)</li> </ul>	<p>【表現・処理】</p> <p>公式で求めるだけでなく、帰着させた図形を作図させる。</p> <p>-----</p> <p>どんな図形に帰着して考えたかを想起させる。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容の理解を深め、算数への興味をひく。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 5px auto;">本 時</div>	<p>〔チャレンジ〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習内容の理解を深め、算数への興味をひく。</li> <li>台形の面積の求め方について考える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: fit-content; margin: 5px auto;">発 展</div> <p>(1/2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平行四辺形 三角形の求積方法を活用して問題を解決しようとしている。</li> <li>新たな図形の面積を求めるのに、自分の知っている平行四辺形や三角形の面積の求積方法を適用するため、それを変形したり分解したりしている。(ウ、エ)</li> </ul>		<p>【考え方】</p> <p>求積目的の図形を変形して考え、求積した方法を説明できるようにさせる。</p> <p>求積目的の図形を想起させ、合成や分解移動ができないか考えさせる。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>ひし形の面積を求める。(1)</li> <li>発展 多角形の面積の求め方について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習の求積方法を活用して問題を解決しようとしている。</li> <li>既習図形をもとにして考えれば、面積が求められないうえ考えさせる。(ウ、エ)</li> </ul>		<p>【関・意・態】</p> <p>何かに帰着させる筋道だった考え方や公式化するよさについて話しさせる。</p> <p>-----</p> <p>今自分が面積を求められる図形を想起させ、新たな図形かそれに変形や分解ができないか考えさせる。</p>

## 評価方法

項	評価の方法	評価の具体的な方法
ア	行動観察	授業者または観察者の方法
イ	発言分析	児童の発言回数、内容の分析
ウ	ノートへの記述の分析	記述の内容の分析
エ	自己評価、相互評価	自己評価カードによる評価、感想文などの分析
オ	テストによる評価	小テスト、単元テスト

重点評価項目

5 本時の指導

(1) 本時の授業仮説

台形の面積を求めるといふ発展的な学習の場面において、求積可能な図形に着目させれば、台形が求められ、さらに本時の考えをもとにすれば、どんな多角形の面積も求められることに気付いていくであろう。本単元で身に付けた基礎・基本を再確認させることにより、それらを活用して新たな課題を解決しようとする態度が身に付くであろう。

(2) 本時の目標

台形の面積の求め方を考えることができる。

(3) 本時に関わる基礎・基本と発展場面について

ア 本時の学習に必要な基礎・基本

平行四辺形、三角形、長方形の求積方法、及び求積公式

基本図形の(台形)の定義・性質

図形の分解や合成

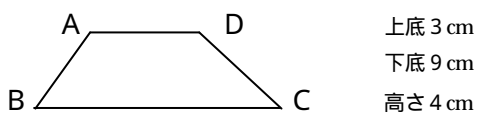
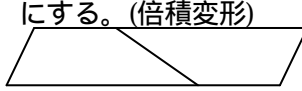
イ 本時の基礎・基本

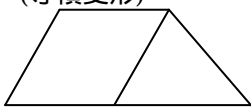
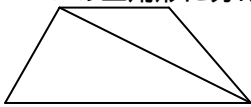


台形の求積方法でも、平行四辺形や三角形、長方形の面積の求め方に帰着して考えていけば、面積を求めることができること。

ウ 本時の発展場面について(発展)

台形の面積を求めるといふ発展場面において、図形を合成・分解して、既習の平行四辺形や三角形、長方形に変形すれば求積できることに気付かせていく。この活動をすることで、どんな多角形の面積も同じ考え方で求積できるという広がりを持たせる。

(4) 展開

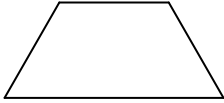
段階	学習内容・学習活動	評価と支援の手立て	準備・資料
つかかむ	<p>・数種の図形を見てその中から面積を求めたことがない図形に着目し、本時で学習する図形である、台形を取り上げることを確認する。</p> <p>1 問題把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>台形 A B C D の面積を求めよう</p>  <p>上底 3 cm 下底 9 cm 高さ 4 cm</p> </div> <p>2 課題把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>台形の面積の求め方を考えよう。</p> </div> <p>3 見通し</p> <p>(1) 考え方の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・面積を知っている図形に変形して考える。</li> </ul> <p>(2) 方法の見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四角形に変える</li> <li>・台形を2つ使い四角形を作る</li> <li>・三角形や四角形に分ける。</li> </ul>	<p>・既習の図形を黒板にはる。</p> <p>・面積を求めたことがない図形に着目させ、本時で学習する台形を取り上げることを確認させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;"> <p>机間指導 1回目</p> </div> <p>どのような見通しを立てているか把握する。</p> <p>・算数コーナーを活用し、既習の図形の求め方にふれ、確認する。</p>	<p>平行四辺形・長方形・正方形・ひし形・台形・円の図形</p> <p>学習用プリント</p>
たしかめる	<p>4 自力解決</p> <p>ア 2つの台形を組み合わせて平行四辺形にする。(倍積変形)</p>  <p>式 <math>(9 + 3) \times 4 \div 2 = 24</math> 答え 24 cm</p>	<p>・一つの方法でできたら、ほかの方法も考えさせる。</p> <p>・下位の児童にも答えの見通しが持てるように方眼紙に台形を用意する。</p>	<p>方眼紙にかかれた台形の図形</p>

<p>た し し か め る</p> <p>27分</p>	<p>イ 平行四辺形と三角形に分ける。 (等積変形)</p>  <p>式 <math>3 \times 4 + 6 \times 4 \div 2 = 24</math> 答え 24 cm</p> <p>ウ 二つの三角形に分ける。(等積変形)</p>  <p>式 <math>9 \times 4 \div 2 + 3 \times 4 \div 2 = 24</math> 答え 24 cm</p> <p>エ 長方形と二つの直角二等辺三角形に分ける。</p>  <p>式 <math>3 \times 4 + (9 - 3) \times 4 \div 2 = 24</math> 答え 24 cm</p> <p>オ 全体の長方形から二つの直角二等辺三角形の部分をひく。</p>  <p>式 <math>4 \times 9 - (9 - 3) \times 4 \div 2 = 24</math> 答え 24 cm</p> <p>5 比較・検討 (1) 考えの発表。 ・式と答えのみを黒板に書き、どのように考えたものなのか、発表する。</p> <p>(2) 共通点を話し合う。 ・どれも学習したことがある図形にしている。 ・公式を使っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方眼の台形に補助線を引いたり、既習の図形に変形して計算させる。</li> <li>・つまづいている児童には、既習の図形に変形することはできないか助言する。</li> <li>・2つ以上の方法で解決した児童には、よさや共通点を自分なりに考えさせる。</li> </ul> <p>机間指導 2回目</p> <p>具体の評価規準に基づいて評価し、支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・式と答えのみを黒板に書かせる。どのように導き出したのかを考えさせ、発表させる。</li> <li>・板書を工夫し、どの考えも、既習の図形をもとにし、面積の公式を使って答えを導いたことに気づかせる。</li> </ul>	<p>黒板用の台形の図</p>
<p>まとめ</p> <p>8分</p>	<p>6 まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>台形の面積は、長方形や平行四辺形、三角形などに変形すれば、求めることができる。</p> </div> <p>7 振り返り ・学習感想を発表させる。</p> <p>8 次時予告</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の言葉でまとめさせる。</li> <li>・本時の学習の振り返りの観点としては今日の学習で分かったことを書かせる。</li> <li>・初めに提示した図形を用いてまだ、求めたことがない図形に取り組むことを伝える。</li> </ul>	

(5) 評価と支援の手立て 【考え方】台形は、既習の平行四辺形に変形するなどすれば、面積を求められることに気付く。

	A	B	C
具体の評価 規準	・自分なりの根拠を持ち、台形の面積を求めることが説明できる。	・求積可能な既習の図形を変形して求積できる。	・求積可能な既習の図形を基にして求めようとしていない。
予想される 反応	・平行四辺形や三角形に分解すると公式を使えるから簡単にできる。 ・色々な四角形、多角形を変形して考えれば、求めることができる。	・台形を二つ合わせ、平行四辺形にして考える。 ・平行四辺形と三角形に分解して考えている。 ・長方形と直角三角形二つに分解して考えている。	・図形を変形したり分解したりの図を、記入していない。 ・方眼紙をただ数えている。 ・既習の面積の公式を思い出さずできない。
指導の手立 て		・複数の考え方で台形の面積が求められるよう促し、自分で自力解決した方法の有効性を考えさせる。	・既習の図形を思い出させる。 ・底辺と高さの関係を再確認させる。

## 6 板書計画

問題	課題	まとめ
<p>台形 A B C D の面積を求めよう。</p> <div style="text-align: center;">  </div>	<p>台形の面積の求め方を考えよう。</p>	<p>台形の面積は、長方形や平行四辺形、三角形などに変形すれば、求めることができる。</p>
<p>見通し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平行四辺形や長方形に変える。</li> <li>・台形を 2 つ使い四角形を作る。</li> <li>・三角形や四角形に分ける。</li> </ul>		
<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div> <p style="text-align: center; font-size: small;">児童発表</p>	<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div> <p style="text-align: center; font-size: small;">児童発表</p>	<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div> <p style="text-align: center; font-size: small;">児童発表</p>
<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div> <p style="text-align: center; font-size: small;">児童発表</p>	<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div> <p style="text-align: center; font-size: small;">児童発表</p>	<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div> <p style="text-align: center; font-size: small;">児童発表</p>



7 座席表

教 卓

ア		ア	
イ		イ	
ウ		ウ	
エ		エ	

ア		ア	
イ		イ	
ウ		ウ	
エ		エ	

ア		ア	
イ		イ	
ウ		ウ	
エ		エ	

ア		ア	
イ		イ	
ウ		ウ	
エ		エ	

ア		ア	
イ		イ	
ウ		ウ	
エ		エ	

ア		ア	
イ		イ	
ウ		ウ	
エ		エ	

ア		ア	
イ		イ	
ウ		ウ	
エ		エ	

ア		ア	
イ		イ	
ウ		ウ	
エ		エ	

ア		ア	
イ		イ	
ウ		ウ	
エ		エ	

ア		ア	
イ		イ	
ウ		ウ	
エ		エ	

ア		ア	
イ		イ	
ウ		ウ	
エ		エ	

ア		ア	
イ		イ	
ウ		ウ	
エ		エ	

まとめ

問題

課題

---

---

---

自力解決

自力解決

見通し

式

式

答え

答え

感想

---

---